

## アコと人生…この人にインタビュー 《第11回》「<sup>ちきら</sup>千吉良 二郎さん」

今回は音楽センター東部教室で長いことキャップをされている「千吉良二郎」さん（74歳）取材しました。12月13日（月）練習会場のある「北松戸」駅前に17:00に待ち合わせをし、徒歩1分ほどの練習会場でレッスンが始まる前の時間を使わせていただきアコーディオンと人生について語っていただきました。

◎今日は取材のために1時間早く出てきていただきありがとうございます。貴重な話を伺うことができるのではと楽しみにしています。よろしくお祈りします。

早速ですが、大変珍しい名前なので生まれた場所からお話いただけますか。

### ＝小学4年の頃終戦を迎える＝

④1936年（昭和11年）生まれの74歳です。

群馬県大泉町で生まれました。太田市と館林市があって利根川が流れていてその向こうが熊谷ですからむしろ熊谷に近い感じです。

近くに中島飛行場があって戦時中はしょっちゅう爆撃された。飛行場の周りには高射砲隊があったけどB-29が飛来しても高射砲の弾が飛行機に届かない。そんな状態でしたから小学生の頃はいつも逃げ回っていた記憶がある。

小学4年の頃終戦を迎え、中学は民主教育になってきた。高校で歌ごえの歌“がんばろう”を教えていた先生いましたから。私は無意識にいい歌だなあと思っていたけど。そういうのもあって歌が好きになったのかなあとも思います。

群馬県のアコーディオニスト“江森登さん”のことを知って群馬県ってアコーディオンが盛んな所なんだなあと思っていた。

### ＝うたごえ運動との出会い＝

④高校卒業後東京へ出てきて働き始めた。しばらくして知人の紹介で京橋郵便局へ就職。

当時はおおらかなもので、自転車に乗れますかと聞かれ「はい、乗れます」と答えたら“じゃあ明日から来てください”と外務員に採用された時代でした。そのまま外務一筋に40年勤め上げた。（昭和38年の年賀切手→）



職場には労働組合があり、当時「うたごえ運動」が盛んでした。先輩が「中央合唱団行けや」と声を掛けてくれて、私も歌が好きだったもんだから、入団したい始めた。

合唱の指導者は、途中から替わりたしかチェロ奏者の井上頼豊さんだったと思う。とても怖い先生だった記憶が残っている。先生は合唱の指導をしていて、うたを間違えたり合わなかったりすると指揮棒ぶん投げてどこかえ行っちゃうんです、それでしばらく経って戻ってきて“もう一度やろう”と始まる。そんな先生でした。

### ＝1曲弾ければ初級卒業の時代だった＝

④合唱団に入ったらうたごえ運動が盛んだったのであちこちの職場に教えに行くことになる。

4人一組で習って歌の指導に行くようになり集会で“歌いましょう”となったら伴奏がないとなかなか引引っ張っていけない。そこで、伴奏ができなきゃだめだということになりアコーディオンを習い始めたんです。

集会を盛り上げるために最初と最後に歌えばいいんだから「がんばろう」「沖縄を返せ」など1~2曲弾ければちょうど良かったんです。それがアコーディオンと出会うきっかけでした。

伴奏がなくても、手を振れば皆でうたえるんですけど、やっぱり違いますね。

習いたての頃は誰もいない職場の屋上や、自転車に戻しに来た仲間に「おお、やってんじゃねえか、ちゃんと弾けよ」何て言われながら人気の少ない自転車置き場などで練習していた。

仕事を終えると、アコーディオンを担いで当時は都電で「大久保」まで習いに行った。その頃は1曲弾ければ“初級卒業”だったんです。(笑)それで、メーデーなんかの時に「がんばろう」を弾いたりしていた。=次ページへ続く=

## =中央合唱団の思い出=

④当時の思い出といえば、中央合唱団でも盛んにサークル活動を指導していましたから、私達の職場のうたごえ運動の中でもサークルづくりが始まり、中央合唱団にいた安田れい子先生（今は北朝鮮）の指導で一緒にサークルづくりをした。京橋郵便局の住所は築地4丁目だったので、すぐ隣に築地市場があって、市場の人とか、日本水産だとかNTTなど地元の人たちを集めて30名くらいの合唱団「築地うたごえ会」といううたごえサークルをつくって、週に1回でしたか同時にやっていた。

他には、日比谷の野外音楽堂の近くへ4人一組で行って歌を歌ってカンパを集めたりもしました。あの頃は集まった（笑）若かりし頃の思い出です。度胸もあったね。

◎お話を聞いていると、当時うたごえ運動をやっていた方たちは元気があったというか、半年で初級修了で放り出されたり、数曲弾けたら外へ出て行って弾かされたり、今では考えられない。

## =アコは約30年間押入れの中で眠る=

④だから私も譜面はあまり見ていなかった。ただ、ベースのコードだけチョコっとメモったものを楽器に貼り付けてチラッと見ながら弾いていた。それを続けてやっていたら一丁前に伴奏できるようになったんだろうけども、始めて4年目ごろメーデーに楽器を持っていったとき誰か鍵盤を上を持ち上げちゃったやつがいて、ファの音が出なくなりました。買った店に持って行って聞いたら“部品が無いので直せない”と言われ、そのまま押入れの中に入れて弾かなくなりました。

もう忘れていて、退職する5~6年前になって娘に「何でここにアコーディオンがあるの」「何で弾かないの」と言われ、妻が「置きっぱなしなんだよねえ、やればいいのに」と、友達が松戸でアコーディオンを習っているから行ってみたらと勧めてくれたので訪ねてみた。

## =たのしそうだなあ~楽器も修理できたし=

④楽しそうだなあ、ここなら続けられるかなあ

ということで東部教室に入り30年ぶりくらいに再び勤めながら練習するようになった。壊れていた楽器も音楽センターの山本さんに見せたら直してくれたので修理ですんだ。

再開してからでもかれこれ20年になるのかな、その割には一向に上手くならないけどねえ。

## =上手くないけど、弾いていると落ち着く=

④平成9年ごろ妻に先立たれてやめちゃおうと思ったんです。そしたら、教室のみんなが“やめるな”と、“やめたらつまんないよ”と言ってくれて、「うーん、それもそうだな」とやめないでこれたんですね。あの時やめていたら、ボケていたかもしれませんね。そのことは、今でもいわれますけど。

上手くないけど弾いていると気持ちが落ち着くというか、そんなことで妻が逝って13年ですから、やめずにこれでよかったです。

妻の思い出といえば、教室の春風コンサートになると、妻が5~6人引き連れて一番前に陣取って観るんですよ。私は恥ずかしいからいつもこう、斜に構えて弾いていたらそれが癖になり今でも先生から「真っ直ぐ向いて」と注意されちゃう。



男性三人で重奏「遠くへ行きたい」の練習の様子  
(中央が千吉良さん) 練習室にて取材時撮影

## =職業病? 肩が痛く長くは弾けない=

④楽器も生意気に大型に替えてから、音はいいんだけど肩が痛くなってね。

仕事は外務（配達）で、区域が京橋、銀座界限ですから人通りが多くて自転車で回るよりカバンに詰めて走り回った方が効率がよかったので左肩にカバンを背負って外務一筋に40年続け

たせいだと思います。

思い出せば、特に夏場は薄着だったから左肩は重さどこすれるのどで真っ赤になりますからね。その後もアコーディオンを背負っていたでしょ、それが今になって痛みが出るようになってきた原因ではないかと思っている。

整形外科で診てもらったら、医者から「アコーディオンはダメ、やめなさい」と、それやっていたら治らないよと言われて一時中断した。

多少良くなったので、仲間から軽いのを借りてチョコチョコ弾いているこの頃です。

アコーディオンはやめられないんだね、何かって、音がいいというか、何か自分の気持ちに合っているような気がする。今、先生は鍵盤ハーモニカに変えたらっていうんだけど、何となく躊躇しているんですよ。まだそこまで決心がつかない。ハーモニカでもと思って買ってはあるんだけど、アコーディオンはベースもあるでしょ、合わせやすいし伴奏には便利だし、ハーモニカでも伴奏は付けられるんでしょうけどちゃんと習わなければ難しそうだし合唱だと聞こえなくなると思うので、習うのはアコーディオンも一緒だけど、伴奏楽器としては捨てがたい。

### **=地元のディサービスで伴奏することに…これがなかなか楽しいが、むずかしい=**

④今は、取手で「ミニ・ディサービス」というて、月に1回金曜日にお年寄りを集めた食事会がある(12月と1月は変則)。そこでみんなと歌うときアコを弾いている。これがなかなか楽しいんですよ。主催は「でんでんむし」、保健生協関係の人たちなので看護師、栄養士、調理師の専門家もいて、お手伝いを含めると50人くらい集まる。

調理は朝9時ごろから準備を始めて、11時ごろ参加者が来る。受付を済ませると看護師の健康チェック(血圧とか問診など)を受ける。それがすむと12時ごろから食事が始まる。400円の会費を出し合いますが食事が美味しくて参加するお年寄りに大変人気がある。

食事のあとイベントが始まるんだけど、その月によって出演者が変わるので、手品があったり、バンド演奏があったり、最後にアコーデ

イオンで歌をうたったりしている。毎月ですから新たに出演者を探すのが大変ですが、これは5~6年は楽に続いていますね。12月はギターが入ったり流行歌的なものをやるバンドの出演でした。1月はマジックの方をお願いしました。取手市の社会福祉協議会の関係者が見学に来て「いいですねえ」って一緒に食事することもある。

### **=取手にある井野団地でも=**

④他には、取手にある井野団地でやっている歌の会。そこは取手の鈴木潔さんがアコーディオンを弾いて他に女性が二人いて歌をうたっている。その鈴木潔さんから「歌をうたいながらアコーディオン弾くのは大変だから来てうたってくれないか」と誘いがあり、鈴木さんの伴奏で私と他の女性二人の三人で歌を担当してみんなと歌っています。

うたはアコーディオンのように間違えることも少ないし、歌は好きだからその方がいいんです。この方は月1回第4金曜日に行くようになって半年経ちます。

### **=やっぱり目標があると練習する=**

④関東アコーディオン演奏交流会にかつては独奏も、また「ゴンドラの歌」で教室の女性と重奏で出たことも、合奏でも出ていたけど、このところ参加しなくなっちゃったね。出ないと練習しなくなる。出ると一生懸命練習しますね、そんなことがあるから私のようなものは出るように心がけていかなきゃダメなんですね。

私も初級の頃は暗譜した。出来たんです。それが、次第に譜面を見るようになってしまった。最近は見ないと弾けないというか不安になっちゃってね、

肩が痛くて遠ざかったりはしているけど(長くは弾かないようにしている)でも、練習しないと上手くはならないから困っちゃう。

でもアコは楽しい、何で楽しいんだろうね。

=おわり=

◎まだまだ話し足りなかつたと思いますが、練習が始まりレッスンの順番を遅らせていただいていたのでこの辺で失礼致しました。

《文責：乙津》